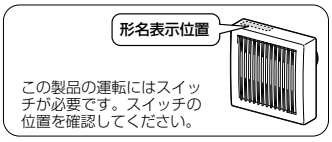
MITSUBISHI ELECTRIC

三菱パイプ用ファン（給気用）
〔浴室・トイレ・洗面所用〕
形名
V-08PPQ6・V-12PPQ6
据付説明書

工事店様用



据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は浴室・トイレ・洗面所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。
  故障の原因になります。
- 直接屋外から給気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を据付けてください。
  また、虫侵入防止のため防虫網付のフードを据付けることをおすすめします。
  （防虫網の点検ができる場所に据付けてください）
- 風雨の影響を受ける場所では耐外風高性能フードを据付けることをおすすめします。
  （壁面汚れ、雨水浸入、異常音発生の原因になります）
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形　名	グリル形状	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PPQ6	角形格子グリル	電源コード直付	●塩化ビニル管 …VP、VU（呼び径100㎜） ●鋼板管（内径100㎜）	●木ネジ …2本
V-12PPQ6			●塩化ビニル管 …VP、VU（呼び径150㎜） ●鋼板管（内径150㎜）	

お願い

- **高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。**
  （故障の原因になります）
- **塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。**
  （故障の原因になります）
- **アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。**
  （振動の原因になります）
- **システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。**
  （壁厚により取付けられないものがあります）
- **天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。**
- **火災警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上離れたところに据付けてください。**
- **浴室で使用する場合は、グリルから水滴が落ちても不快にならない位置に据付けてください。**
- **寒冷地区（次世代省エネ基準のⅠ、Ⅱ地区）では使用しないでください。**
- **効果的な換気を行うために排気口を設けてください。**
  浴室・トイレで使用される場合は、排気用換気扇と連動させることをおすすめします。

安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱を確認ください

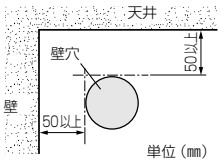
外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

据付方法

1.据付け前の準備

壁据付けの場合（壁穴へのパイプの固定）

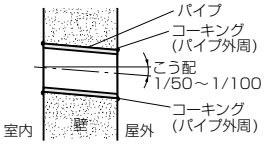
1. 据付け場所を決めて穴をあける。
   - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
   - 必ず床面より 1800 ㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



2. 壁穴にパイプを確実に固定する。
   パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
   - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
   - 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。

お願い

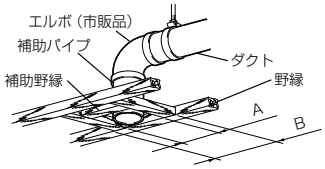
- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。



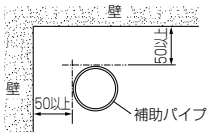
※パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

天井据付けの場合（野縁組立とダクト配管）

1. 下図のように野縁組立をし、ダクト配管をする。



形　名	A	B
V-08PPQ6	□120	□180
V-12PPQ6	□170	□230

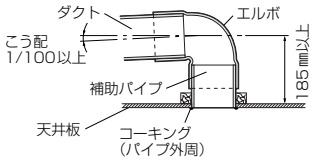


単位（㎜）

2. ダクトの中心から天井板まで 185 ㎜以上離して天井板をはる。
3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。
   パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。

お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけてください。
- ダクトには結露防止のため断熱処理をしてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



※補助パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

2.電気工事

⚠警告

- **交流 100V を使用する**
  （直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因）
- **湿気の多い場所ではアース線を確実に取付ける（D種接地工事）**
  （故障や漏電のときに感電の原因）

⚠注意

- **電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
  （接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因）
- **電気工事は電気工事店に依頼する**
  （感電の原因）

■電線同士の接続を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従い実施してください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるときは電源電線をはさまないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設けてください。

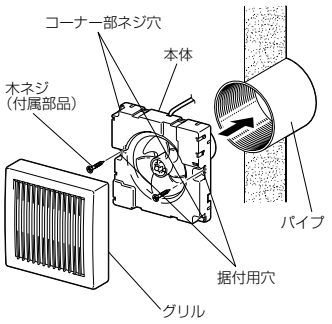
3. 本体の据付け（壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです）

1. 本体からグリルをはずす。
2. 結線をする。（電気工事は電気工事士の方が実施してください）
   電源コードと電源電線との接続は、電線に適合したリングスリーブなどを使用し、専用のカシメ工具を用いて確実にカシメ接続をして絶縁処理をします。

お願い

- 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース線を使用して必ずD種接地工事を行ってください。

3. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジ２本で本体を固定する。
   - 左右の据付用穴をご使用ください。
     必要に応じてコーナー部ネジ穴（V-12PPQ6は上下部ネジ穴）をご使用ください。
   - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



※図はV-08PPQ6を示す

4. グリルを本体に据付ける。
   - グリルの方向を間違えないよう本体に据付けます。
5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。
6. 試運転を行う。
   - 換気扇が運転・停止するかを確認してください。
   - 異常な音・振動などがないかを確認してください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
- 本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

⚠ 【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　JIS C 9921-2

環境条件	電　圧	単相 100V	定格電圧による
	周波数	50Hz および 60Hz	定格周波数による
	温　度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	「8. 仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間[a] 台所　2410 時間／年 居室　2193 時間／年 トイレ　2614 時間／年 浴室　1671 時間／年	

注[a] 24 時間換気のものは、8760 時間／年とする。